

Iam OK の会 寺子屋プラネット
夏合宿 2014 (7 月 31 日～8 月 2 日 桐花園)

会として初の試みとなる小学校高学年以上を対象とした 2 泊 3 日の合宿。数日といえども、親から離れて家族以外の人たちと生活を共にする経験が少ない子ども達には不安も大きいはず。同じ SST クラスのお友達同士ととても仲が良いことから、強い緊張や不登校などの理由で学校のお泊り行事に参加できない子ども達も含め、友達と寝起きを共にする楽しさを経験してほしい、そして自分に自信を持ち自立につなげる活動にしたい、そんな思いで計画し実現した合宿である。一緒に遊んでくれる大学生のお兄さんお姉さん 2 人にもボランティアで参加いただいた。

合宿中は友達と楽しく過ごすことはもちろんだが、自分のことは自分でする、手伝う、助け合う・協力する、最後まで頑張る、団体生活で周りに合わせることを学べるような活動を取り入れた。着替えで脱いだものは片づける、布団を敷く・たたむ、バーベキューの準備を手伝う、陣馬山ハイキングをやり遂げる、切符やアイスを自分で購入する、協力してうどんを作るなど。しかし、子ども達は私たちが予想した以上の頑張りを見せてくれた。

嫌いな野菜、食べるように言わずとも、嫌いなのかと聞くだけで何とか 1 つは食べる子。苦手な花火に恐る恐る挑戦し、その後何本も自ら挑戦することができた子。言葉をなかなか発しなかったが、絵日記の発表で先生と一緒にではあるが、しっかり声を出して発表した子。最初から行きたくないと言っていたハイキングで途中途中何度も弱音を吐きながらも、みんなの励ましで頑張りをやりきった子。就寝時緊張が高くなりおしゃべりが止まらなくなったり、動き回ったりしつつも、何とか 2 泊頑張れた子。雷の音が苦手で部屋を閉め切りたいが室内が蒸し暑いので一部窓を開けていることに頑張って耐えた子。周りをしっかり見て気遣いながら声をかける子。

宿泊合宿を通して生活レベルでの子ども達が抱える課題、直面している困難さが見えてきた。一方で、自分でできることがたくさんあることにも気づくことができた。親のように助けてくれる大人がそばにいない環境で、周りと合わせることやそのために我慢して頑張らなければいけないことがあると、気持ちの上で不安や負担も大きくきついただろうが、友達と一緒に励ましてもらいながらやれば頑張れることも多い。陣馬山ハイキングは予想とは異なり、大人でもきつい急な坂ばかりの道で、まるで登山だったが皆やりきった。本人ができないと思っていたことにもチャレンジする場をつくり、本人の自信や力につなげていける場となっていればうれしい。

SST クラス講師 文本